



「奥の松」のSake・食・楽・知の情報誌

号外

奥の松あだたら便り

現代の名工受賞

奥の松醸造元である、東日本酒造協業組合 理事・杜氏 殿川慶二が現代の名工を受賞いたしました。

「現代の名工」とは——卓越した技能を持ち、その道の第一人者と称され認められた者。

受賞のことば

この度、卓越技能者「現代の名工」に選ばれました事、大変嬉しく感激で二杯でございます。

受賞にあたり、福島県職業能力開発協会・福島県酒造組合・関係者各位のご指導ご尽力に、心より深く感謝と御礼を申し上げます。

この受賞を機に更なる技術の向上を図り、酒造業界の発展に貢献できるように、切磋琢磨し一層精進する所存です。

この荣誉に恥じるのではないよう邁進し、チャレンジャーの精神を忘れることなく、全身全霊を傾注し、更なる良酒の醸出に励みます。日本酒が皆様に喜びを与えることを祈念します。

奥の松酒造株式会社醸造元
東日本酒造協業組合
理事・杜氏 殿川慶二



殿川慶二 Profile

長崎県壱岐市、麦焼酎発祥の島、酒造家の長男として生を享ける。
全国新酒鑑評会金賞受賞(21年の内20回受賞)。
平成30年 IWCチャンピオン・サケ受賞。
令和元年 福島県技能者(県の名工)表彰。

その他多数

表彰

東北清酒鑑評会

22年連続優等賞 受賞中

平成29年
純米酒の部 最優秀賞

令和元年
全国新酒鑑評会 金賞

11年連続金賞 受賞中

令和元年
福島県技能者(県の名工)表彰

令和元年
福島県秋季鑑評会
吟醸の部 県知事賞

後進指導育成にも力を発揮

自社における若手の育成はもとより、平成4年9月当時、福島県酒造組合技術副委員長だった殿川は福島県内の後継者不足を懸念し、「新潟清酒学校」を参考にカリキュラム作成などに参画。

平成4年9月に清酒アカデミーの前身となる県技術者研修が始まり、1期生12名を迎え、翌5年4月には福島県から普通職業訓練短期課程の認定を受け、現在の「福島県清酒アカデミー職業能力開発校」へと名称を変更した。

現在も講師として製麹(せいぎく)管理の授業を受け持ち、後進の育成に力を発揮している。

清酒アカデミーは本年で29年目を迎え、20周年の節目には長年の功績が認められ、感謝状を贈呈された。

現代の名工受賞記念酒

全国新酒鑑評会11年連続金賞・直近21年で20回の金賞は現役杜氏で最多の受賞歴。
2018年にはインターナショナルワインチャレンジで「世界一」の称号を得た杜氏殿川がプロデュース。



殿川 純米大吟醸雫酒 720ml

殿川 大吟醸雫酒 720ml